学校番号	403

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■美術Ⅰの内容を踏まえて「自然や社会との関わりを掘り下げて創造的に表現する絵画・彫刻」「自然・自己・社会などを見つめ、生活をより豊かにすることを考えてデザインをする」「自然・自己・社会などを深く考察して表現する映像メディア表現」「時代・民族・風土・宗教などの相違を汲み取り、美術文化の理解を深める鑑賞」の４つの分野について年間を通して学習します。

■授業の進め方としては、導入時に各単元の学習内容についての意図や歴史的背景、美術理論などを、プリント等を交えて解説します。また具体的な参考作品や画像資料などを提示して、それらも発想の手がかりとして制作してもらいます。画材の扱い方や表現技法、色彩や構成の考え方については個別にも指導して行きます。また互いの作品を鑑賞し批評することで、自己と他者の表現や考えの違いを客観的に見つめ、認め合う力も養います。

■学習の到達度は、題材に基づいて制作された作品と制作プロセス、授業態度、制作・鑑賞レポートなどで評価します。

■美術Ⅰに比べて、素材の加工には危険が伴う道具を使うことがあります。正しい使い方を身につけ、自身と周囲の安全に留意する意識も身につけて下さい。

2　学習の到達目標

美術Ⅰで培った造形力や観察力を土台に、創造的で幅広い美的体験を通じて個性豊かな表現力を獲得し、感性と鑑賞能力を高める。日本の伝統的表現用いた課題にも取り組み、歴史的な側面からも美術文化を考察し、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や伝統的な美術文化にも関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、感じたことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を見つけ、創造的な表現を構想できている。	創造的で個性豊かな表現をするために必要な技能を身につけ、主題に応じて表現方法を工夫している。	美術作品の表現の工夫や美術の歴史的な側面を考察し、美術文化の理解を深めて、その良さや美しさを多様な視点から創造的に味わっている
評価方法	学習活動の様子 制作の様子 レポート 鑑賞活動などの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞活動などの様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【絵画】【鑑賞】 ・教科書の内容を読み、その中にある作品を抽出して、それについての感想レポートを書く。 ・友達同士でクロッキー	○	 ○	 ○	○	a:多様な表現方法や歴史背景について関心を持ちながら、主体的に作品を鑑賞し、創造活動の喜びを感じようとしている。 b:人体の持つ動勢を感じながら、創造的に対象を表現できている。 c:鉛筆やチャコールペンシルの表現に工夫がある。 d:美術作品の良さやその美しさを創造的に味わっている。	鑑賞活動などの様子 レポート 制作途中の作品 作品
	木炭デッサン	【絵画】 リンゴと白い紙を机上に配置して、木炭デッサンする	○	○	○		a:伝統的な画材である木炭で描くことに関心を持ち、主体的に表現することに取り組んでいる。 b:モチーフから感じたものや美しさを見つけ出し、紙の扱いにも工夫を凝らし、創造的に画面構成できている。 c:木炭や木炭紙、食パン等の描画材料を工夫して扱い、表現している。	学習活動の様子 制作途中の作品 作品
	彩色スケッチ	【絵画】 校内の中庭にある自然を題材に、アクリル絵具を用いて彩色スケッチをする。	○	○	○		a:日常生活や自然の中にある美しさに関心を持ち、主体的にそれを表現しようとしている b:対象の持つ色彩の美しさから主題を見つけ出し、創造的な表現ができている。 c:主題に応じた個性豊かな表現をするために、混色技法ややアクリル絵具で出来るマチエールの作り方に工夫がある。	学習活動の様子 制作途中の作品 作品

	自分の体の一部がシュルレアルな立体に変身！	【彫刻】【映像メディア表現】【鑑賞】 サルバドール・ダリのドキュメンタリー映像やヤン・シュヴァンクマイエルのアニメーション作品を鑑賞し、シュルレアリスムの表現手法や美術的背景を学ぶ。それを踏まえて自分の体の一部を石膏取りして、石粉粘土と組み合わせて立体表現を行う	○	○	○	○	a:シュルレアリスムの表現について関心を示し、主体的に表現しようとしている。 b:想像力を働かせて、シュルレアリスム的な創造性豊かな作品を構想できている。 c:石膏や石粉粘土の性質を理解し、表現を工夫している d:シュルレアリスムの歴史的背景や美術作品について、その意義や美しさを理解している。	鑑賞活動などの様子 学習活動の様子 制作途中の作品 作品 レポート
2学期	日本画に挑戦！	【絵画】【鑑賞】 教室内の画集や教科書に掲載されている、明治時代以前の絵巻物や障壁画や襖絵、水墨画、浮世絵などの日本絵画を鑑賞し、それを手がかりに、伝統的な画材である岩絵具と和紙、金箔、墨を用いて日本画を描く。作品完成後は互いの作品の鑑賞会も行う。	○	○	○	○	a:日本絵画の歴史やその表現方法に関心を示し、主体的に表現しようとしている。 b:伝統的な日本絵画を手がかりに、感性を働かせて、創造的な表現を構想できている。 c:岩絵具や膠、和紙、金箔、墨の特性を理解し、創造的に表現する工夫がある。 d:日本の伝統的な美術作品や美術文化を理解し、その美しさや良さを創造的に味わっている。また互いの作品を鑑賞し合い、多様な視点を身に付けようとしている。	鑑賞活動などの様子 制作途中の作品 作品 レポート
	自然の形から発想したペーパーナイフづくり	【デザイン】 動植物など自然物の持つ有機的で美しい形をモチーフにして、桂材を加工、エゴマ油によるオイルフィニッシュを施して、オリジナルのペーパーナイフを作る。	○	○	○		a:動植物の持つ有機的な形の美しさに関心を示し、主体的に表現しようとしている。 b:ペーパーナイフの機能を理解し、美しさを意識しながら創造的な構想ができている。 c:木材の性質や加工道具を扱う技能を身につけ、表現に工夫が見られる。	学習活動の様子 アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品

3学期	ダンボールによる立体制作	【彫刻】 日常的にありふれた素材であるダンボールを用いて、日用品や工業製品、建築物などをモチーフに立体的に表現する	○	○	○	○	a:ダンボールの素材感に関心を示し、主体的に表現しようとしている b:対象の持つ構造や美しさ、機能などを理解し、創造的な構想ができている。 c:モチーフの特徴に合わせてダンボールを工夫して扱い、創造的で個性豊かな表現ができている。 d:ダンボールの歴史的背景やや美術作品における在り方を理解し、創造的に味わっている。	学習活動の様子 制作途中の作品 作品 レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。